

リストーンによる洗浄手順

本洗浄に先立ち、素材を傷めず最大の洗浄力を得る為に、必ずダメージテスト及び洗浄テストを行って下さい。

ダメージテスト

薬品が素材(タイル・石材)に対し、ツヤ落ちや色抜けを起こさないかどうかの確認を行います。

1. 刷毛に薬品の原液を付け、タイル・石材(目立たない場所)に小さい範囲で塗布します。
2. 薬品が完全に乾燥した後、きれいなウエスで水拭きします。
3. 乾燥後にツヤ落ちや色抜けが無いかを確認します。

▶もし影響が出た場合は、低濃度の洗剤を選択するか、洗浄方法を変更します。

*必要に応じて、素材の種類別・箇所別に同様のテストを行います。

テスト洗浄

1. カタログ中の使い分け早見表にある汚れの程度・種類を基に、使用する薬品の目安をたてます。

重度汚染 ▶ リストーンパワー又はスタンダード 中軽度汚染 ▶ リストーンセーフティ又はマイルド

2. 薬品ムラを防止する為に、水養生(均一に湿る程度がよい)した後に薬品を塗布します。
*洗浄する部分の周辺部(特にガラス、サッシ、植栽など)にも水をかけておきます。
3. 液垂れを起こさないようにウエス、刷毛等を使用して薬品を均一に塗布します。
4. 薬品が乾燥しないうちに化学タワシやブラシで擦ります。
5. 周辺部も含めて十分に水洗いをします。
6. 仕上がり具合(汚れ落ち・ツヤ・色味)の確認は洗浄面が乾燥後に行ってください。
(最初のテストは目立たない場所で行い、徐々に確認範囲を広げる様にして下さい。)

本洗浄および注意点

1. テスト洗浄で選定した薬品と工程を基準とし、本洗浄を実施します。
*リストーンは汚れの程度に合わせて原液で使用します。
*薬品成分が残留しないように十分に水洗いをします。
*必要に応じてリストーン中和剤で中和作業を行います。
*吸水性が高い素材は洗浄ムラを防ぐ為に、薬品の使用前に十分に水を含ませます。
*吸水性が高い素材は廃液が残留し、汚れがシミとして残る場合があるので入念に洗浄します。
*薬品が直接かかると影響を及ぼすと思われる部材はビニールシート等で養生します。
(金属物、サッシ、窓ガラス、植栽、鏡面ミカゲ石、塗装面、大理石、車両、木材等)
*上げ裏部等、汚れが特にひどい箇所は薬品を塗布すると共に、化学タワシなどを使い物理的に擦る作業を行うと汚れ落ちが早くなります。
*エフロが発生して塊になっている場合はケレン作業を行なった後に、薬品洗浄を行います。
*薬品洗浄に先行して高圧水洗浄を行うと目地の汚れがきれいに落とせます。
*使用する薬品の種類を1ランク落として2度洗浄するとムラなく仕上げられます。
*壁のタイルがテストで良好な結果が出た場合でも、床のタイルに薬品が垂れて焼けを起こす場合があります。
▶床をビニール等で養生した上で、拭き上げ作業を行って下さい。
*洗浄する外壁タイルの下部に鏡面のミカゲ石やステンレスが施工されている場合は、薬品による変色を避ける為、ビニール養生を行った上で、拭き上げ作業を行って下さい。

※リストーンをご使用になる場合は使用方法を守り、不具合が出たらすぐに作業を中止し、解決方法を確認した後、作業を再開してください。